

お月見の夕べ

令和7年度

《伝統文化伝承事業》

四季のある日本には、「月見」という伝統行事があります。月見は旧暦8月15日(今年は10月6日)に、すすきを供えて中秋の名月を愛でる風雅な風習です。伝統文化の“詩吟”“和楽器”“茶道”“俳句”を盛り込んだお月見の夕べを開催しました。公民館の自主グループの方々の日頃の稽古の力が結集した、素晴らしいイベントになりました。



お月見の夕べ

日本の伝統文化に親しんでみませんか

2025 10/4 (土) 19:00~20:30
会場：安居公民館正面(雨天時は館内)

お月見とは・・・
旧暦8月15日に月を鑑賞する行事。この日の月は「中秋の名月」「十五夜」「芋名月」と呼ばれ、今年は10月6日です。
旧暦は月の満ち欠けで日付が決めるので、現行の太陽暦とはシステムが異なり双方は関連がないため、月見の日付も年によって異なるのです。
あなたを特別な お月見の夕べ にお招きいたします。
月を愛でながら、日本の伝統文化を満喫しましょう。

内容：詩吟(演奏 尺八：蛸崎清山先生 琴：永田雅秀先生)
剣舞(宗生流剣舞道総本部 中嶋将聖…安居中出身)
抹茶と菓子のおもてなし
俳句をつくらう(題：月) 一人2句まで
希望者のみ・お持ち込みでも結構です…優秀者に賞品があります
協力：安居公民館自主グループ
「安居詩吟教室」「安居の語り座」「茶道教室 精英会」「安居俳句会」

【お申込】公民館37-1234へ9月27日(土)までにお申し込み
【定 員】20名
【参加費】300円(抹茶・菓子代)当日いただきます
主催：安居公民館 伝統文化伝承事業



詩吟の解説をして頂いた語り座の方々



お茶の手前は茶道教室の方で



プレバトのように、来場者が詠んだ俳句の講評をもらい、優秀者を選びました。



茶道は、単に茶を点てて飲むというだけではなく、おもてなし・おもいやりの心が詰まっています。水屋では、一杯のお茶を美味しくいただいてもらうため心を尽くします。



子ども茶道教室

年長児を対象に、日本の伝統文化“茶道”の体験教室を開催。部屋の入り方、お菓子や抹茶の頂き方を学びました。和菓子が美味しい！と大喜び。



親子茶道教室

子どもとその保護者を対象とした体験教室を実施。茶筌を使って抹茶を点て、親から子へ、子から親へおもてなしをしました。

